19日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報(U) 平3-62271

®Int. Cl. 3

識別配号

庁内整理番号

❷公開 平成3年(1991)6月18日

F 16 K 1/226

K

6458-3H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

❷考案の名称

バタフライ弁のシートリング

②実 願 平1-123139

20出 願 平1(1989)10月23日

四考案 考 鍋 島

祥 吾

大阪府東大阪市本庄中2丁目91番地の1 株式会社巴技術

研究所内

勿出 顕 人

株式会社巴技術研究所

大阪府東大阪市本庄中2丁目91番地の1

70代 理 人

弁理士 八木田 茂

外3名

愈実用新案登録請求の範囲

剛性材料からなる中空筒状の本体の全内周面と、該本体内に回転自在に軸支されている剛性材料からなる弁体の周縁部との間に介在される弾性材料からなる環状シートリングにおいて、該シートリングの外周面に形成された幅W,と高さY,の帯に対して、さらに弁棒貫通孔部に、上記幅W,より小さい幅W,と高さY,を有し、上記幅W,の半径R,の中心O,に対し弁棒貫通方向に偏心した点O2に中心をもち、上配半径R,より小さい半径R,の軌跡で表わされる膨出部を設けたことを特徴とするパタフライ弁のシートリング。

図面の簡単な説明

第1図aは本考案の一実施例を示すパタフライ

弁のシートリングの上面図、同図 b は同図 a の B ー B 線断面図、同図 c は同図 b の C ー C 線断面図、第 2 図 a は弁体組立前の状態を示すシートリングの断面説明図、同図 b は弁体組立時の状態を示すシートリングの説明図、第 3 図は従来例を示すパタフライ弁の正面図、第 4 図 a 及び b は本出願人の開発したシートリングの内周面の展開図及び作用説明図である。

1……シートリング、1 a……弁棒貫通孔、1 1……耳部、12……帯、13……膨出部、14 ……空隙、W₁, W₂……幅、Y₁, Y₂……高さ、 R₁, R₂……半径、O₁, O₂……中心線、Y₂……偏 心量。

